

富津市創生会議 会議録（要旨）

1 会議の名称	第2回「富津市創生会議」
2 開催日時	平成28年8月19日（金） 午後1時30分～午後5時05分
3 開催場所	富津市役所5階 503・504会議室
4 審議等事項	1 総合戦略実行計画(案)及び平成27年度総合戦略事業の評価について
5 出席者名	富津市創生会議委員（15名） 浅野 隆、稲村 重夫、岩沢 宏幸、神田 ミヤ子、 櫛田 直也、小泉 敏、坂田 慶子、佐々木 ゆき江、 鈴木 裕士、鈴木 眞廣、武次 治幸、永田 武憲、 並木 邦明、早見 秀一、森田 泰彰 事務局（7名） 総務部長 小泉 義行、 総務部次長 池本 幸司、企画課長 重城 祐、 企画課企画課長補佐 木村 美文、 企画課主任主事 國吉 功二、企画課主任主事 赤井 聖、 企画課主事 牧野 圭吾 実行計画事業担当課（60名）
6 公開又は非公開の別	公 開 ・ 一部公開 ・ 非 公 開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当 (理由)
8 傍聴人数	14人（定員 20人）
9 所管課	総務部企画課企画係 電話 0439-80-1223
10 会議録（発言の内容）	別紙のとおり

第2回「富津市創生会議」会議録

発言者	発言内容
事務局	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 会議の趣旨及び議事進行について 本日の会議の趣旨は、「実行計画確定に向け、「総合戦略実行計画（案）」について委員からご意見、ご質問をいただき、修正、改善点を取りまとめる。」ことである。 それでは、実行計画の概略を説明する。 資料4の富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略実行計画（案）の2ページの4、総合戦略実行計画の様式及び進行管理について、(1)総合戦略実行計画の様式は、3種類の様式である。 ①の総合戦略実行計画一覧表は、総合戦略の4つの基本目標に掲げる具体的な取組の主な事業とその担当課、実行計画書及び事業シートのページ番号を総合戦略実行計画事業一覧表（以下「一覧表」という。）にまとめている。4ページから7ページまでが、一覧表である。 ②の総合戦略実行計画は、一覧表の総合戦略に記載された具体的な取組の事業の予算事業毎に総合戦略実行計画として、「総合戦略」、「予算事業」、「目的」、「事業全体の内容」、「年度別事業内容」、「事業費財源内訳」、「事業目標」、「総合戦略の目標値」を明示している。8ページから資料4の最終ページまでである。 ③の事業シート（概要説明書）は、事業毎のPDCAサイクルの確立のため作成し、総合戦略実行計画の進行管理に活用するもので、資料5事業シート（概要説明書）として、別冊としている。 資料4の3ページの(2)進行管理は、市民と一緒に創りあげた総合戦略のため、その進行管理についても市民参画の手法で実施する。 まず、①の市が作成する毎年度決算に係る事業シートにより、実行計画の各事業について、市民から広く意見を取り入れる手段を確保しながら、進行管理機関として富津市創生会議において点検評価を行い、改善していく。 次に、②の富津市創生会議において指摘された改善点を反映して市が作成した次年度当初予算に係る事業シートに富津市創生会議での点検を加える。 次に、③の①・②を毎年度実施して実行計画の検証を行い、必要に応じて見直すことにより、PDCAサイクルを確立する。 ④の進行管理の段階においても、議会に情報を提供し、議会と執行部が両輪となって本戦略を推進する。 毎年度の進行管理については、実施段階においても市民に情報を提供し、年度終了後に評価機関としての富津市創生会議に提出し、ご意見をいただいたうえで、9月議会に報告する予定である。 続いて、4ページから7ページまでは総合戦略実行計画一覧表（目次）について、</p>

4 ページの基本目標 1 「自分のくらす地域を好きになる」の実行計画は再掲を含め 13 枚、事業シートは見開き 1 事業で 21 組、

5 ページの基本目標 2 「くらしやすく、移住しやすい環境づくり」は、再掲を含め 17 枚、事業シートは 27 組、

6 ページの基本目標 3 「子どもの笑顔があふれるまちへ」は、再掲を含め 17 枚、事業シートは 14 組

7 ページの基本目標 4 「市の産業、仕事を創る」は、再掲を含め 21 枚、事業シートは 19 組

合計で、実行計画が 68 枚、事業シートが 80 組である。

なお、平成 27 年度において、新規事業又は人件費だけの事業については、資料 5 事業シートは作成していない。

資料 5 は、富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略実行計画附属資料（案）、事業シート（概要説明書）である。

この事業シートは平成 27 年度決算の事業シートで、資料 4 の総合戦略実行計画（案）の 3 ページ(2)進行管理の①に該当する。

次に、資料 2 事前調査及び討議について、1 の各委員が基本目標ごとに事前調査の観点、本日の議論の主眼点は、

① 「総合戦略実行計画（案）」（資料 4）に掲げる各事業について、事業全体の内容、年度別事業内容、事業目標等は、総合戦略目標値達成のための手段となっているか。

② 「事業シート（概要説明書）」（資料 5）のうち事業の自己評価（今後の事業の方向性）と「総合戦略実行計画（案）」がつながっているか等の 2 点について事前調査をお願いしたところである。

2 の本日の議事進行の時間配分の目安は、

4 つの基本目標ごとにおおむね 40 分を目安に議論し、途中休憩をはさみ、終了予定は 17 時としている。

最初の 10 分は各担当委員から、3 分程度の事前調査発表をしていただき、残りの時間は全委員による議論、質疑応答、修正・改善点の取りまとめをして想定している。

全委員による議論、質疑応答において、他の委員から自分の意見に対する賛意や異論があった場合は、積極的に説明等の発言をしていただきたく、また、各担当委員からの意見発表等について、賛意や異論の意見があれば、積極的に表明していただき、活発なご討議をお願いする。

なお、本日の会議の趣旨では、「委員の皆さんからご意見、ご質問をいただき、修正、改善点を取りまとめる。」と説明したところであるが、修正、改善点を取りまとめるためには、まず、委員から多くのご意見、ご質問をいただき、活発な討議をしていただくことが肝要であるため、修正改善点のとりまとめは、会議録の確定をもって、取りまとめることをご了承くださるようお願いする。

次に資料 3 については、第 2 回富津市創生会議事前調査担当表である。資料 4 の総合戦略実行計画（案）は 70 ページを超えているため、各委員に事前調査していただく事業を基本目標ごとに割り振っている。

会長の進行のもとに後ほど、各委員からご意見を発表していただく。

	<p>次に、資料1は、総合戦略実行計画策定スケジュール（案）である。</p> <p>8月10日開催の庁議で、総合戦略実行計画（案）を確定後、直ちに創生会議委員及び全ての市議会議員の皆様へ第2回創生会議資料を送付すると同時に、市ホームページに会議資料を公開し、市民からの意見聴取を8月18日まで実施した。</p> <p>なお、本日まで市民からの意見提出は、無い。</p> <p>また、本日委員からいただくご意見と、8月22日に開催される富津市議会全員協議会での市議会議員の方々よりいただくご意見をもとに修正等をし、9月12日開催予定の庁議において実行計画を決定し、その内容を創生会議委員の皆様にお知らせする予定である。</p> <p>本日いただいたご意見は、その意見と修正箇所・内容、修正しない場合はその理由等を一覧表にして、決定した総合戦略実行計画及び附属資料を9月に各委員へ送付する。</p> <p>以上で説明を終わるが、本日の会議の場で、可能な限り即日に対応するため、担当課の職員もすべて出席しているので、活発なご議論をお願いします。</p>
会長	事務局の説明に対し、質問はあるか。
委員	特になし
会長	<p>4 議題</p> <p>(1) 総合戦略実行計画(案)及び平成27年度総合戦略事業の評価について</p> <p>会議録の確定について 会長の指名した委員による承認を採用 第2回会議の署名人は下記のとおり 岩沢副会長、神田委員</p> <p>議題の(1) 総合戦略実行計画(案)及び平成27年度総合戦略事業の評価については、先ほど事務局から説明のとおり進行する。 再度確認するが、基本目標ごとの議論の時間は40分を目安とする。 最初に、各担当委員から一人3分程度で意見発表をしていただき、残りの30分程度で、全委員による議論、質疑応答をする。 まず、基本目標1から議論をはじめます。 基本目標1の担当委員は、稲村委員、櫛田委員、佐々木委員の3名であるので、稲村委員から順に意見発表をお願いします。</p>
稲村委員	実行計画8ページの事業費と事業内容欄に記載の金額が合わない理由は何か。
秘書広報課	事業費欄には、事業に係る総額を、事業内容欄には主要な事業に係る費用を記載しているため、微細の事業費分の差異がある。

稲村委員	事業シート6ページについて、広報ふつつをコンビニで取得できることは、富津独自の取組で素晴らしい。そこで質問だが成果欄のi広報紙富津版の登録者数の確認方法について教えてほしい。
秘書広報課	i広報紙富津版の登録者数の確認方法について、i広報紙は㈱ホープのシステムを利用しており、専用アプリをインストールした登録者の数としている。
稲村委員	実行計画9ページの史跡めぐりや郷土史学習等の推進について、平成27年度と28年度の高墳の里ふれあい館及び富津埋立記念館の管理運営費を比較すると、平成28年度の事業費が増額している理由は何か。
公民館	富津埋立記念館に係る浄化槽、ブロアーの改修、ブラインド交換による費用を計上しているためである。
稲村委員	<p>実行計画10ページの自治振興事業について、事業シート20ページの成果欄に自治会の加入メリットを作ると書いてあるが、新住民には、加入するメリットだけでなくデメリットと未加入のメリット・デメリットを伝えた方がよい。</p> <p>実行計画20ページの消防団を中核とした地域防災力の充実、強化について、以前消防団に加入していたが、消防団活動は新入団確保が大変である。実行計画にはどのように確保するかが記載されていないが、消防団活動を円滑に進めるだけでなく消防団のイメージアップの戦略が必要である。</p>
会長	実行計画10ページの自治振興事業及び実行計画20ページの消防団を中核とした地域防災力の充実、強化については、質問ではなく意見ということによいか。
稲村委員	意見である。
会長	再度確認するが、事業数が多いため、主に実行計画について意見、質問することとし、事業シートは、自己評価欄を参考としてもらいたい。続いて、榎田委員の意見、質問をお願いします。
榎田委員	<p>実行計画8ページのふつつのいいこと発信事業について、Facebookの「いいね」の数が民間と比べると低い。人口、読み手が減少する社会では、読む回数の増加が必須である。Facebookの「いいね」の数を増やすのは簡単であるので数値設定の見直しについて検討してもらいたい。また、事業内容には読める機会の増加手法は記載しているが、読みたくなる内容について記載がない。どのように魅力的な内容にするのかを書いてほしい。</p> <p>加えて、事業シートの8ページ成果欄にホームページで書ききれないようなことをFacebookでとの記載があるが、逆である。ホームページに</p>

は伝えたいことを全て記載して、Facebook で記載されたことを発信するような運用が適切である。

ドローンの活用の記載があるが、ドローンで魅力は作れない。ドローンは俯瞰して見られるのが強みであり、何を写すのかドローンの活用について考えてもらいたい

事業シート 10 ページの自己評価欄に、世代交代の際に所有者とのスムーズな関係性の維持とあるが、実行計画 9 ページの史跡めぐりや郷土史学習等の推進についての中で、やる気のある若者を育てる方法について記載されていない。

また、出前講座、出前授業の成果目標数の妥当性がわからない。年に 1 回増やすことでよいのか。年に 1 回ではなく月に 1 回増やし、魅力の発信力を高める必要があるのではないか。設定数値が既存事業の現状維持となっている。

事業シート 15 ページ、古墳の里ふれあい館について、古墳の里ふれあい館に行ったが、その後の市内各所へのルートや情報へのリンクが不十分である。

また、事業シート 16 ページに実態把握をしていくとの記載があるが、方法がわからない。

富津埋立記念館について、素晴らしい施設であり、ジオラマなど他では見られないものである。しかしながら事業シート 18 ページの平成 26 年度と平成 27 年度の入館者数を比較すると 500 人以上減少しており、空いている会議室を使ってもらうなど、利用者を増やす企画を考える必要がある。

事業シート 22 ページの市民が誇れる顔づくり事業について、自己評価欄に自活できる仕組みをつくる必要があるとの記載があるが、自活は収益性が必須だがどうやって収益性を確保するのか、記載されていない。

また、ネットワーク化の推進も具体的な方法が不明である。

事業シート 24 ページの市民文化祭事業について、自己評価欄に参加者が固定化する傾向があるとの記載があるが、参加人数を増やす、モチベーションをあげる工夫が記載されていない。また、市内の取組で終わっている。

事業シート 26 ページの公民館事業について、活動実績を見ると学級・講座参加者数が減少傾向にある。

富津市人口ビジョンでは、シルバーの年代層が増えると書かれているが減っているのはなぜか。シルバー層にターゲットを絞る必要があるのではないか。

また、老人クラブと公民館事業の教室を総括することで、シニアのネットワークを強化する必要がある。例えば学校で単位を取得するイメージで、シルバーカレッジのように教室への参加を促す、横のつながりをつくる等の取組が必要である。

まとめると具体的に増やす、課題を解決する取組について、実行計画書に記載してもらいたい。

会長

榎田委員の質問、意見数が多いため、全てに回答する時間が取れない

	が、この場で特に聞きたいことをお願いします。
榎田委員	ドローン活用の方法を伺いたい。
秘書広報課	俯瞰した映像を撮影できることが強みであり、今までは人の目線から見た写真、静止画が主であったが、動画を組み合わせて、よりインパクトのある映像を作成する。
榎田委員	Facebook ページの「いいね」回数の設定根拠を伺いたい。
秘書広報課	始めて3年目でようやく1000件となり、なかなか伸びてこなかったこれを倍増しようとした。中間数値は31年度まで段階的に増やすよう調整したものである。この数値に達することではなく、それ以上とすることを考えている。
榎田委員	実行計画9ページの、出前授業や講座について、具体的に誰をターゲットに増やして行くのか。
生涯学習課	回数は、学校の出前授業、公民館での教室を考えている。出前講座は担当職員が1名で実施し、文化財発掘調査の担当を兼ねているので、十分な機会の確保が困難である。
榎田委員	出前講座があることを知られていないので民間との連携もっと充実させた方が良い。 また、実行計画14ページの公民館学級・講座を増やす方向性、具体的な取組、アイデアを教えてもらいたい。
公民館	参加人数は減ってきているが、今年度の講座は、富津公民館14講座、中央公民館が14講座、市民会館20講座である。 固定化している各講座もあるが、毎年講座を入れ替えて教室を運営することで、利用者を増したい。
会長	続いて、佐々木委員の意見、質問をお願いします。
佐々木委員	実行計画8ページの配布方法で、ポスティングとあるが、必要があるのか。事業シート6ページの成果欄では、平成26年度と平成27年度を比較すると減少しているので必要なのか。
秘書広報課	ポスティングについては、新聞を取っていない世帯に対して広報ふっつを配布するために実施している。平成27年3月から4月にニーズ調査を実施し、その結果一人暮らしの高齢者や近くにコンビニがない人にとって必要であることから、入手困難な方を対象に実施している。
佐々木委員	事業シート10ページの文化財を維持するのに、個人の善意に頼ってい

生涯学習課	<p>る。報償費が些少であるとの記載があるが、原資については、自治会、区長報償費を削って文化財の維持にまわしても良いのではないか。区長には報酬があるが、副区長以下の役員には出ていないのは問題である。可能な限り文化財を維持する方向で考えてもらいたい。</p> <p>文化財の保全に係る原資の確保について、個人で保有している文化財は、管理費用の一部を補助しているが、基本的に所有者である個人の善意に頼っている。文化財の管理を継続するための方策について、今後の課題である。</p>
佐々木委員	<p>実行計画 10 ページの自治振興事業について、もっと広く自治会に入ってもらうには開かれた自治会であることが必要である。それを市から指導ができないのか。自分のところは、何をやっているのかわからない。自治会が一番身近な存在であるため、自治会の活動の周知について指導が可能であればお願いしたい。</p> <p>それが、自治会に対する当事者意識を持ってもらえる、自分の暮らす地域を好きになることにつながる。</p> <p>実行計画 13、14 ページの市民文化祭、公民館学級・講座への参加者が固定化してしまうかもしれないが、ある程度固定化することは仕方ないため、継続してもらいたい。</p> <p>実行計画 16 ページの地域包括支援センターがあることを知らなかったのので、もっと周知してもらいたい。</p> <p>実行計画 19 ページの成果目標欄に 107 の自治会すべてに、自主防災組織が設立されることを目標とあるが、地域によって防災の取組にばらつきがある。避難訓練を年 2 回、市の全地域で実施されるようにしてもらいたい。</p>
会長	<p>質問ではなく意見として扱ってよいか。この場での回答はよいか。</p>
佐々木委員	<p>はい。</p>
会長	<p>3 名以外の委員は意見、質問があるか。</p>
坂田委員	<p>実行計画 14 ページの公民館学級・講座について、公民館まで行けない高齢者がいるため、集会所などもっと近くで開催できないか。</p>
公民館	<p>富津市の公民館は 3 館しかない。他の自治体では、小学校区単位に設置しているところがある。反対に、富津市の公民館は規模が大きく、もっと活用することが重要であるが、職員数が少ないため実施できない。</p> <p>学級・講座については、公民館が講師をしているのではなく、費用負担して依頼するか、ボランティアでの実施である。</p>
岩沢副会長	<p>実行計画 16 ページの認知症サポーターを増やす取組は良いが、認知症を予防する取組はないのか。</p>

介護福祉課	認知症に関する施策は、総合戦略に記載はないが、別に計画がある。認知症に絞った予防は難しいため、包括的な介護予防の施策で、健康寿命の増進に係る取組を実施することが良いのではないかと考えている。
岩沢副会長	それらを実行計画に記載し、取組をPRしても良いのではないか。
介護福祉課	承知した。
会長	他に意見、質問が無いようなので、次の基本目標2に進める。 基本目標2の担当委員の浅野委員、坂田委員、鈴木裕士委員、早見委員に意見発表をお願いする。また、予定時間に遅れが出ているため、発言内容は、重複の無いようお願いする。
浅野委員	実行計画21ページの市内の交通利便性維持、向上について、交通インフラは大変重要である。大貫駅タクシーが無くなって不便だという話が出ている。事業内容を見ると、バス対策補助金など、現状維持に関するものとなっているように見える。既存の交通手段の維持だけでなく、例えばデマンド交通が注目を浴びていて、利用者が予約し、利用者のところまで迎えに行き目的地まで運ぶもので、バスよりも小さなワンボックスタイプの車両など運行や車両維持に係る経費が少なく、また、大変便利で使いやすいと言われている。このようなデマンド交通を計画に記載しても良いのではないか。 交通空白地帯の解消を住民の声を聞いて実施するなど、現状を調査して必要な手を打つ必要がある。
企画課	デマンド交通が便利であるという意見があることは把握している。一方でデマンド交通は経費効率を上げるため乗合とすることが前提で、複数の家に迎えに行くことで決まった時刻に到着できず、タクシーよりも大きな車両で乗合しなければ費用は大きくなるなど、課題が大きい。 また、浅野委員の意見のとおり、市民のニーズを把握し、富津市にあった交通の形を作るためには、詳細な調査を実施する必要があると考えている。
会長	続いて、坂田委員の意見、質問をお願いする。
坂田委員	実行計画24ページの児童遊園地管理運営事業について、平成27年度に行った公園を利用しやすくするための仕組みの検討結果について、教えていただきたい。公園の実態把握はできていないようだが利用状況を把握しないままでの検討なのか。
子育て支援課	平成27年度に行った公園を利用しやすくするための仕組みの検討結果については、平成27年度に実施した市民委員会のことを指している。具体的な検討は今年度から行う。また、市内の児童遊園地が5箇所、子どもの遊び場が20箇所あり、担当が保育事業を兼ねていることもあり、

	<p>全ての利用実態を調査できない。</p>
坂田委員	<p>今年度以降の検討についても、利用実態を把握せず検討するということか。</p>
子育て支援課	<p>その通りである。</p>
会長	<p>続いて、鈴木(裕)委員の意見、質問をお願いします。</p>
鈴木(裕)委員	<p>実行計画 22 ページのバスストップ施設整備事業について、成果目標がバスの停車便数となっているが、例えば移住定住者数、入込客の増加数、また、バスストップと J R 駅との接続などバスストップ設置後の恩恵にするよう着地点を考えた目標設定を考える必要がある。</p> <p>実行計画 23 ページの都市計画について、自治体が基盤整備することで民間が補助金を受けやすくなることがあるのではないかと。例えば中心市街地の活性化基本計画を定めるなど、民間活力の活用が成される整備に取り組んでほしい。</p> <p>実行計画 36 ページの農作物被害対策事業について、鋸南町がイノシシの捕獲ツアーで客が集まっている。また、事業シート 94 ページの自己評価欄に食肉加工場に関する要望書の提出について記載があるが、有害鳥獣を逆手に商品化するなど、弱みを強みにするのも良いのではないかと。</p> <p>実行計画 37 ページの空き家について、空き家率を減らすことを目標としているが、空き家調査の組織を作り、もう一步踏み込んで、不動産事業者と協力して売却まで踏み込んだ内容にすると良い計画になると考える。</p>
都市計画課	<p>コンパクトシティについては今後検討していきたい。</p>
農林水産課	<p>イノシシ、鹿など年間 3000 頭捕獲している。ジビエの活用が全国的にあるのは承知しており、昨年度は県外の加工施設を見学した。しかし、東日本大震災の影響で、ジビエについては全頭検査が義務付けされており、課題がある。</p>
鈴木(裕)委員	<p>捕獲したときの報酬について、富津市より君津市の方が高く、富津市で捕獲しても君津市に持っていくことがあると聞いたことがあるが事実か。</p>
農林水産課	<p>事実であるが、県議会でも問題であるとされた。以前は尻尾を切り取って持って行っていたが、現在は、捕獲時の写真を付すこととしている。</p>
会長	<p>続いて、早見委員の意見、質問をお願いします。</p>
早見委員	<p>実行計画全体に言えることだが、昨年度策定した富津市人口ビジョン 2040 において、人口が減少していくことが示されているが、実行計画の</p>

	<p>事業費を見ると概ね、予算額が減額されていない。人口減少を勘案し見直す必要があるのではないか。</p> <p>各実行計画の成果目標の数値、特にアンケートによる満足度等を目標としているものがあるが、手法、規模等の調査方法を統一する必要がある。</p> <p>バスのダイヤ改正の見直しや、公園の廃止など支出負担の見直しが必要ではないか。</p> <p>実行計画 32 ページのごみ収集事業について、人口が減ればゴミも減るため、成果目標については、量ではなく率の方が望ましいのでは。</p> <p>実行計画 35 ページの成果目標値について、活動団体の増加数が 1 から 1 以上とある一方で、36 ページでは、被害額を 1000 万円以上減らすなど目標の設定にばらつきがある。再度検討が必要ではないか。</p>
会長	4 名以外の委員は意見、質問があるか。
榎田委員	先ほど、子育て支援課から公園の利用実態調査が難しいという発言があったが、職員が張り付くのは無理でも民間を活用、連携すれば容易にできると思う。
子育て支援課	公園によっては、管理を地元区長に依頼しているところもある。利用者把握については、今後、区長にお願いすることを検討したい。
会長	<p>他に意見、質問が無いようなので、休憩を挟み、次の基本目標 3 に進める。</p> <p>基本目標 3 の岩沢副会長、神田委員、鈴木真廣委員に意見発表をお願いする。</p> <p>(休 憩)</p>
神田委員	<p>実行計画 48 ページのワークショップについて、昨年度の市民委員会から子育て支援課と何度か話をしているが、例えば中学卒業の際に不要になった制服などを譲る場があっても良いのではないか。それを膨らませてワークショップにするとしても良いのではないかということになった。</p> <p>しかし、平成 27、28 年度に計画の検討、候補地の選定、平成 29 年度も検討になっているが、決して大規模な場所である必要はなく、民間で行っている場のワークショップ形式で成り立つことではないか。このため晴れていれば、先ほどの公園の活用でもよいのではないかと考えるので、どういう計画になっているのか知りたい。</p>
子育て支援課	市民委員会でも意見を伺ってこの実行計画を立てたが、個別にも色々話があったので、個別を総合的にワークショップという形で、特に地元の住民を主体として実施していくという話になったことから、平成 28 年度も引き続き検討し、平成 29 年度の予算措置、または実施内容そのも

	<p>のがどうか、空白ということで記載したものである。 空白になっているが、目途がつき次第、実施して行く。</p>
神田委員	<p>それこそ民間で母親同士が実施するものとしてはどうか。</p>
子育て支援課	<p>具体のプランがあれば市は協力する。</p>
神田委員	<p>実行計画 54 ページのふるさと育英資金事業について、とても感動した。子ども達にとって勉学に励む要素になるように思う。返還不要であれば、子ども達にとってメリットが大きいと思うが、富津市育英資金はどのように考えているのか また、市内に就業した場合との記載があるが、具体的な職場について確認したい。</p>
教育総務課	<p>返還金について、学校卒業後、市内に就職し定住することで、全部又は一部免除することで検討している。職種を限定することまでは未定だが良い制度にしていきたい。</p>
神田委員	<p>実行計画 52 ページの複数の教員のチームティーチングで指導にあたるとあるが、教員でないと駄目なのか、ボランティアは駄目なのか。ボランティアであれば補助員の人数をもっと確保できるのではないか。</p>
教育センター	<p>主となる先生は教員免許必須であるが、もう一人はボランティアでも可能である。しかし、子ども達について指導をすることから、適正等の課題がある。現在は、教職を目指す教職員の卵という制度があり、大学生等に授業の休みを利用して、何名か指導補助員として協力してもらっている。</p>
神田委員	<p>人口減少について、出会いの場の創出で、カップル成立数としているが、カップルが誕生すれば、この目標は達成したことになるのか。私は28年里親をやっているが、子どもが生まれない夫婦が、特別養子縁組を希望することが最近多い。そういった方達と一緒に研修を受けている。 子どもの数が減っている一方で、児童相談所では、家庭に問題がある子どもが溢れている。また、施設での対応にも限界があるため、民間の里親が受け入れており、特に乳幼児が多くなっている。 市と県が一体となって、子どもの未来を守ると共に、富津市の子どもの減少を抑制するため、富津市もNPOと連携をとって里親を増やしてもらいたい。</p>
子育て支援課	<p>里親制度については、講演会を平成27年度に開催した。県やNPOと連携していきたい。</p>
会長	<p>続いて、岩沢副会長に意見発表をお願いする。</p>

岩沢副会長	<p>実行計画 39 ページのふれあいスポーツフェスタ事業について、平成 28 年度から事業費が増えているが、増えた分が婚活に該当すると推察するが、どんな形で婚活を実施するのか読み取れないので記載してもらいたい。</p> <p>結婚を期に出て行く人を防止する方策が書かれていないので、検討されていれば教えてもらいたい。</p>
生涯学習課	<p>この事業は、市民の健康づくり、体力づくり、親睦を図るもので、その中で若い人もいて、同じ趣味を持った人もいる。そういった市民が集まるイベントをきっかけとして出会いの場とすることができないかと、発想した部分がある。</p> <p>各年度の実施内容は、事業内容に記載のとおり、ふれあいスポーツフェスタ実行委員会で決定している。</p> <p>事業費については、平成 28 年度から増えたのではなく、27 年度の事業費が少なかったことが原因である。</p>
岩沢副会長	<p>スポーツフェスタは、婚活のイベントではなく、単に整ったイベントを記載したということか。</p>
生涯学習課	<p>その通りである。</p>
企画課	<p>結婚を期に出て行く人を防止する方策については、昨年度実施したアンケート結果にも現れているように、仕事、住環境となっているので、婚活に関する実行計画に記載されていないが、基本目標 2 及び 4 の取り組みが方策にあたる。</p>
岩沢副会長	<p>実行計画 41 から 43 ページにかけて、子育て世代包括支援センター、ファミリーサポートセンター、子育て支援センターなど色々名前が出てくるが、計画書だけだと内容がわからない。重複もあるのではないかと考えるが、市で整理されているか。</p>
子育て支援課	<p>各実行計画書に、子育て世代包括支援センター等の事業の詳細について記載した方が良いということか。</p>
岩沢副会長	<p>それぞれの機関がどのようなことをしているのか、市民が理解しやすい記載をお願いしたい。また、お互いに重複する部分が多くなると思うが、関連部署が連携をとり、ムダを省くとともに、効果的に事業を行ってほしい。</p>
子育て支援課	<p>承知した。</p>
岩沢副会長	<p>実行計画 51 ページの富津の自然、歴史、社会の豊かさ活用事業について、社会副読本「わたしたちの富津市」に興味があるが、座学だけでなく実際に行ってみるとわかることがある。カリキュラムの中に実際に歩</p>

	<p>くものを入れることを検討していただきたい。また、基本目標1の史跡文化財保存にも関連し、子ども達が訪れることで、地域の人達も保全の甲斐が生まれるので文化財、教育を切り分けず連携してもらいたい。</p>
教育センター	<p>小学校の低学年時に、ボランティアの協力をいただきながら地域学習を実施している。史跡めぐりについても市の生涯学習バスを活用し、全ての史跡を巡るのは難しいが、子ども達の興味を引く場所を中心に実施している。</p>
岩沢副会長	<p>富津市を好きになるための教育は大切なことなので、体系的に進めていっていただきたい。</p> <p>実行計画 53 ページの学校給食について地元産物の学校給食への優先的使用については良い取組だと思う。もう一つの給食食材に係る市民ボランティアとの連携について、具体的な内容を確認したい。</p>
教育総務課	<p>今年度は、既に市民ボランティアと3回協議を行っている。</p> <p>具体的な内容は、市の給食が子ども達にとって安全であることをどのように情報発信していくかについてである。今後も協議を重ねる予定。</p>
会長	<p>続いて、鈴木眞廣委員に意見発表をお願いする。</p>
鈴木（眞）委員	<p>実行計画の全般への意見であるが、戦略という言葉からはこれまでにない取組があるということを感じるが、今までやってきたことをそのまま記載しているように見える。必要なこと、課題、成果、できていないがやらなければいけないこと、実施していないのならば何故できないのか等がわからない。</p> <p>実行計画 46 ページの出産、子育て情報の発信強化とあるが、ホームページの効果をどれくらい見ているのか。</p>
子育て支援課	<p>イクトモの閲覧件数については、平成27年度3,229件である。</p>
鈴木（眞）委員	<p>数字もいいが、顔を合わせてコミュニケーションが必要ではないか。発信はこれまでもしているが情報が届いていないという結果がでている。</p>
子育て支援課	<p>若年層への情報発信として、スマートフォンで容易に閲覧可能なものとして計画したものである。顔を合わせたコミュニケーションについては、利用者支援事業など、他の計画で実施する。</p>
鈴木（眞）委員	<p>実行計画 41 ページの切れ目のない子育て支援の実施について結婚、妊娠、出産と小学校に上がった後も含めて考えると、持続した循環、未来の父母の育成の視点が抜けている。学校が子どもを抱え込みすぎていて、地域も受け入れる素地がない。例えば、乳幼児健診などに子どもが手伝ったりできないのか、学校教育の中に取り入れられないのか、検討いた</p>

	<p>だきたい。</p> <p>また、子育て世代包括支援センターは、どういう事業を実施するか。また、そのイメージはどのようなものか。</p>
子育て支援課	<p>児童福祉法の改正で次年度から実施することとしている。妊娠から継続して子育てまでの間を包括して支援することであるが、具体的内容は未定である。</p>
鈴木（眞）委員	<p>どのように包括的に実施していくのかを議論してもらいたい。</p>
会長	<p>3名以外の委員は意見、質問があるか。</p>
櫛田委員	<p>実行計画 46 ページについて、イクトモの告知が不十分である。ホームページは一方通行なので、見てもらう取組が必要であり、市民文化祭事業もそうだが発信方法が重要。</p>
会長	<p>次の基本目標 4 に進める。基本目標 4 の担当委員の小泉委員、永田委員、並木委員、森田委員に意見発表をお願いする。</p>
小泉委員	<p>実行計画 58 ページの経営改善普及事業について、漁業にはあるか。</p>
商工観光課	<p>商工会へ補助しているものであり、漁業を対象にしているものではない。</p>
小泉委員	<p>実行計画 63 ページの就農給付金のようなものは漁業にあるか。</p>
農林水産課	<p>漁業については、県が就漁相談を行っているが給付金はない。</p>
小泉委員	<p>夏場の収入について行政にも一緒に考えてもらい、イベント、特産物を販売する施設を作っていただきたい。また、漁業者が離れない内容にしていってもらいたい。</p>
農林水産課	<p>農林水産業は富津市にとって重要であると認識しており、漁業についても国県等に育てる事業を要望していきたい。</p>
永田委員	<p>実行計画 55 ページの企業誘致奨励金について、奨励条件として富津市内に在住者にする等雇用促進を十分考慮してほしい。</p>
企画課	<p>富津市に住んでもらえるようなインセンティブとなるような制度にしていくよう検討する。</p>
永田委員	<p>実行計画 56 ページの中小企業融資対策事業について、貸した金が有効に使われているか追跡調査等を行っているか。</p>

商工観光課	現在、融資を取り扱っている金融機関にアンケート調査を実施しているところである。
永田委員	実行計画 57 ページの廃校等の利活用について、利活用実績の回数について説明をお願いしたい。
教育総務課	対象校数が 2 校であり、撮影等で利用されたもの等を含み、校舎、教室が利用された回数を記載している。平成 28 年度に回数が減るのは、平成 28 年度中に旧関豊小学校を売却予定であり、対象校数が減るためである。
永田委員	実行計画 58 ページの経営改善普及事業費について、利用者の経営改善がどのようになされたか追跡調査が必要だと思うがいかがか。
商工観光課	富津市商工会に対する補助金のことであり、民間企業に補助しているものではない。
永田委員	それがわかるように記載いただきたい。 次に、実行計画 59 ページの成果目標と事業内容の整合が取れていないように見える。年度別事業内容に大きな変化が見られないが、これで目標達成できるのか。
企画課	平成 28 年度実績では、既に 3 千万円を超えているところであり、魅力的な返礼品の開発により、非現実的な数字ではない。 地方製品の PR の場として、積極的に活用して行きたい。
永田委員	実行計画 60 ページについて、平成 27 年度実績に挙げているものは商品化されたのか。
農林水産課	富津の海苔を使ったお菓子等 10 作品程度の試作品を作り、その内 1 品が試験販売されている。今年度の調査・研究事業を募集する際に、広報に実績を掲載予定である。
並木委員	実行計画 55 ページの企業誘致奨励制度について、既存の会社の定着を図るようにすることは理解できた。しっかり調査をして、企業の意向に沿うように検討いただきたい。新富工場協議会の加盟企業として、協力できることはしていきたい。 また、「女性の雇用や職域拡大に取り組む企業の表彰などの PR」については、具体的な計画があるのであれば、事業シートに記載していただきたい。
企画課	事業シート 129 ページには男女共同参画関連事業として、既存事業を実施しているところであるが、実行計画では新富工場協議会に協力いただき、意向を調査した上で実施していくとしており、今後検討させてい

	<p>ただく。</p>
並木委員	<p>実行計画 56 ページの中小企業貸付金 70,000 千円と事業シート 132 ページの「事業の自己評価」欄にある金額との関係性について説明いただきたい。</p>
商工観光課	<p>原資金の 10 倍まで貸付が可能となっていることから、実行計画 56 ページの中小企業貸付金 70,000 千円の 10 倍に相当する 7 億までの融資枠が確保されていることになる。</p>
並木委員	<p>実行計画 59 ページのふるさとふつつ応援寄附について、リピータの確保が重要で、そのためには寄附金の使途について明確にしたほうがよい。具体的に伝える手法を検討いただきたい。</p> <p>また、実行計画 61 ページの成果目標にある「組織率の維持向上」について、今後において組織率の増減に係る分析が重要であるため、検討いただきたい。</p> <p>基本的な施策方向③の観光の振興について、文化財に関するツアーを実施するなど、古墳の里ふれあい館で資料を見た上で実際に現場に行つて古墳を見ることでより魅力感じるができると思う。</p> <p>また、市内の公共施設について、スポーツ施設など利用が少ない時期は、合宿をする学生に利用を呼び掛けるなどの PR 策を検討してはいかがか。</p>
商工観光課	<p>観光協会とタイアップしてプロモーションビデオで観光地をメインにした情報発信をしていく。</p>
森田委員	<p>実行計画 64 ページの地域の実情に応じた規制緩和について、事業内容に具体性がないため、何も変わらないのではと不安である。実行計画 64 ページの青年就農者にも関わるため、市ではどのように考えているのか。</p>
農業委員会	<p>規制緩和については、農業委員の中でも賛否両論あるため調整が必要あり、今後、検討させていただく。</p>
森田委員	<p>目標を明確にしないといけないため、事業内容に盛り込んでいただき、前向きに検討いただきたい。</p>
浅野委員	<p>実行計画 57 ページの旧関豊小学校に係る廃校活用について公募されているが、希望者はいるのか。</p>
教育総務課	<p>応募については、9 月 12 日まで受付を行う。本日現在、照会は数件あるが申し込みはない。</p>
浅野委員	<p>もし購入希望者がいなかった場合どうするのか。</p>

教育総務課	庁内で跡地利用検討委員会を組織しているため、再度検討する。
浅野委員	賃貸は有り得るのか。間口を広くして活用策を検討してほしい。
教育総務課	可能性は有り得るが、跡地利用検討委員会で検討する。
永田委員	実行計画 57 ページの宿泊・滞在型観光推進事業について、民泊は含まれるのか。
商工観光課	この事業は旅行者などに対する斡旋など紹介事業を推進しており、ターゲットとしては市内の旅館、観光地としているため、民泊は含んでいない。現状では、法律上困難である。
武次会長	以上をもって第2回創生会議を終了する。 議論いただいた内容や意見は、会議録の確定をもって取りまとめとさせていただきます。
事務局	8月22日の全員協議会でいただく意見と併せて取りまとめ、いただいた意見に対する修正箇所及び内容、修正しない場合はその理由等を一覧表にして配布予定である。9月中旬の実行計画決定に向けて調整を図る。
	(終了時刻 午後5時05分)

以上